



中藤っ子 LOVERS

令和7年度 No. 3
福井市中藤小学校だより
発行日 令和7年 6月2日(月)
〒910-0837 福井市高柳 3-3001
TEL:54-3823 FAX:54-3874

水無月の「遊びの広場」に薔薇の香ただよう

令和7年度が始まり、2ヶ月が過ぎました。児童会の委員会活動やクラブ活動、1年生を交えての清掃活動、縦割り活動（なかよしタイム）などが本格的にスタートを切りました。見送りにきた保護者との別れに涙していた児童も今ではたくましく登校できるようになりました。こうした児童の、日々の変化や成長を目にするたびに、児童の育みに携わる者としての喜びややりがいを感じないわけにはられません。このような感動を、保護者の皆さま、地域の皆さまとともに分かち合えればと思います。今後とも、ご支援・ご協力をお願いします。（文責 勝木）



ある日の出来事から

登下校の見守りをよろしく願います ～ 見守り隊 対面式 ～

5月1日、見守り隊対面式がありました。これまでは、年度末に感謝の集いを行っていましたが、まず、お世話になる方と顔合わせをして、1年を過ごしたいと考え、対面式となりました。それぞれの学年からは、登下校時の感謝と誓いの言葉がありました。見守り隊の方からは「みんなの学校生活を応援します。行儀が悪いと注意します。うちの子、よその子、関係なく」とのメッセージをいただきました。

見守り隊はボランティアとして運営されているので、日頃の感謝を表すものとして、「おはようございます」「さようなら」「ありがとうございます」などのあいさつをすることと、自分たちを思っ



中学生の先輩とともに ～ 灯明寺中学校区あいさつ運動 ～

5月8～9日の2日間、今年度1回目の灯明寺中学校区あいさつ運動がありました。中学1年生と3年生約50名がボランティアで参加しました。1年生の中には2ヶ月ぶりの小学校という生徒もいて、開始前、旧担任との話に花を咲かせていました。

児童が登校してくると、元気なあいさつで呼びかけていました。たった2ヶ月会わなかっただけですが、すっかり大人びて、小学生へお手本を見せてくれました。



半年間、よろしく願います ～ 前期委員会活動内容 発表 ～

5月8日、令和7年度前期委員会活動について、各委員会委員長から発表がありました。活動のめあてや内容、全校へお願いが伝えられました。マイクを使わなくても、大きな声で発表でき、聴き手も静かにまなざしを向けて聴いていました。5～6年生がそれぞれ学校のために取り組む委員会活動なので、下級生児童には感謝の気持ちをもってほしいと思います。中藤小学校をよろしく願います。



来るかもしれない その日に備えて ～ 避難訓練・引き渡し訓練 ～

5月9日、避難訓練と保護者への引き渡し訓練を行いました。避難訓練では、地震の後、給食室で火が発生したとの想定でした。ほとんどの児童は、口を閉じて静かに行動できていました。なかには、静寂に耐えきれずおしゃべりする児童もいました。講評では、素早く行動、静かに移動・集合、放送に耳を傾けるなど、学校生活での普段の行動が本番に生きる話をしました。

引き渡し訓練では、すべての児童が終了予定時刻までに下校することができました。ご多用の中、ご協力ありがとうございました。



心とからだを働かせて

～ 無言清掃（中藤しくさ） ～

5月13日、令和7年度、新しい場所での掃除がスタートしました。1年生にとっては、初めて縦割りでの掃除をすることになります。1年生は、これまで自分の教室で雑巾がけの練習をしてきました。いよいよ方々に分かれての掃除ということで、6年生の班長に迎えに来てもらった後、掃除を開始しました。

本校は、無言清掃に取り組んでいます。無言で掃除に集中し丁寧にやることで、心を美しくするというねらいからです。新しい場所で、全校児童が張り切って掃除しているように見えました。



「マルハバ！」ようこそ、中藤小へ

～ エジプト教員 学校訪問 ～

5月14日、エジプトの教員研修として、福井大学教職大学院による学校訪問がありました。エジプトでは、日本型教育を取り入れている学校が53校あり、その研修プロジェクトに福井大学教職大学院が協力しているそうです。今回は14名の教員が来られました。授業は、2年4組と6年4組、3年1組を参観していただきました。エジプトの教育を担っている方々だけに、授業後は、本校教員に熱心に質問をしていました。本校児童は、「マルハバ！」（アラビア語で「こんにちは」）と積極的にあいさつしていました。



自分事として考える

～ 不祥事防止 自主研修会 ～

5月14日、教職員研修として不祥事防止研修会を開きました。行政からの要請ではなく、自主的な開催です。様々な不祥事の事案についてグループに分かれて、起こした教員の問題点や起こしたことによる影響、学校で取り組める未然防止のアイデアについて話し合いました。最後に、話し合った結果を共有しました。個人の抑止力もさることながら、職員間のコミュニケーションを密にすることで仲間の意識を高める職場づくりも大事という思いにまとまりました。



快晴の下、地域の方とともに ～春期校内体育大会(中藤島区民体育大会)～

5月18日、前日までの雨模様が嘘のような晴れ間となり、中藤島区民体育大会が開かれました。児童は、学校種目として徒競走に、中にはブロック代表としてリレーに出た児童もいました。オープンで「大縄跳び」に参加した教職員チームは、日頃のチームワークを発揮して1位になるサプライズもありました。競技は予定どおり順調に進み、正午過ぎには終了しました。

児童のみなさん、保護者のみなさん、地域のみなさん、お疲れ様でした。



トピック

コロナ禍を経て、これまでの地道な取組が評価され、本校PTAが県教育委員会より「優良PTA 福井県教育委員会表彰」を受けました。併せて「福井県PTA連合会会長表彰」、「広報紙コンクール奨励賞」も受賞しました。現役員及び歴代役員の皆さん、会員の皆さん、受賞おめでとうございます。

校長室から 校内サポートルーム「KOKO COLOR（ここから・個々カラー）」

学校に来られない、教室に入れない児童のための不登校支援として、本年度、校内サポートルームを立ち上げました。その名も「KOKO COLOR ROOM」です。「ここから始まる、個々のカラー（個性）を大切に」が名前の由来で、キャッチフレーズは「ここは、あなたとクラスの中継基地」です。県の専任支援員は配置されなかったため、教職員をやりくりし、本校独自で運営しています。

ここでの最終目標は学級復帰ですが、そのために、自己選択・自己決定の機会を大切に、自らが立てた1日の計画をもとに実行し、段階的な支援で小さな目標を達成させたいと思います。そして、達成感を味わわせることでモチベーションを上げていき、自信へとつながっていくことを目指しています。また、ルーム内の児童同士の関わり合いを通して、個々を認め共感的な人間関係の育成にもつながりたいと考えています。長期欠席児童の支援に寄与したいと考えています。

